

D I ニ ュ ー ス

薬剤部 医薬品情報管理係

新規採用医薬品通知

(薬品名)	イグザレルト10mg・15mg	市販直後調査 平成24年4月～平成24年10月
(英名)	XARELTO tablets 10mg・15mg	
(規格・含有量)	10mg/1錠 1錠中リバーロキサバン 10mg 含有 15mg/1錠 1錠中リバーロキサバン 15mg 含有	
(一般名)	リバーロキサバン	
(メーカー名)	パイエル	
【薬価収載日】	2012年4月	
【薬価】	(10mg錠:372.40円) (15mg錠:530.4円)	
【薬効コード】	873339	
【薬効分類名】	選択的 direct 作用型第Ⅹa 因子阻害剤	
効能・効果	非弁膜症性心房細動患者における虚血性脳卒中及び全身性塞栓症の発症抑制	
用法・用量	通常、成人にはリバーロキサバンとして15mgを1日1回食後に経口投与する。 なお、腎障害のある患者に対しては、腎機能の程度に応じて10mg 1日1回に減量する。	
警告	本剤の投与により出血が発現し、重篤な出血の場合には死亡に至るおそれがある。本剤の使用にあたっては、出血の危険性を考慮し、本剤投与の適否を慎重に判断すること。本剤による出血リスクを正確に評価できる指標は確立されておらず、本剤の抗凝固作用を中和する薬剤はないため、本剤投与中は、血液凝固に関する検査値のみならず、出血や貧血等の徴候を十分に観察すること。これらの徴候が認められた場合には、直ちに適切な処置を行うこと。	
禁忌	①本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者 ②出血している患者(頭蓋内出血、消化管出血等の臨床的に重大な出血) ③凝固障害を伴う肝疾患の患者 ④中等度以上の肝障害(Child-Pugh分類B又はCに相当)のある患者 ⑤腎不全(クレアチニンクリアランス15mL/min未満)の患者 ⑥妊婦又は妊娠している可能性のある女性 ⑦HIVプロテアーゼ阻害剤(リトナビル、アタザナビル、インジナビル等)を投与中の患者[「相互作用」,「薬物動態」の項参照] ⑧アゾール系抗真菌剤(フルコナゾールを除く、イトラコナゾール、ボリコナゾール、ケトコナゾール等)の経口又は注射剤を投与中の患者[「相互作用」,「薬物動態」の項参照] ⑨急性細菌性心内膜炎の患者	
相互作用	本剤作用増強 ①HIV-プロテアーゼ阻害剤(リトナビル、アタザナビル、インジナビル等) ②アゾール系抗真菌剤(イトラコナゾール、ボリコナゾール、ケトコナゾール(国内未発売)、フルコナゾール等) ③クラリスロマイシン、エリスロマイシン 本剤他剤副作用増強 ①抗凝固剤(ヘパリンナトリウム、エノキサパリンナトリウム、フォンダパリヌクスナトリウム、ワルファリンカリウム等) ②血小板凝集抑制作用を有する薬剤(クロピドグレル硫酸塩、チクロピジン塩酸塩等) ③サルチル酸誘導体(アスピリン等) ④血栓溶解剤(ウロキナーゼ、t-PA 製剤(アルテプラゼ等)) 本剤作用減弱 ①リファンピシン ②フェニトイン、カルバマゼピン、フェノバルビタール、セイヨウオトギリソウ(St. John's Wort、セント・ジョーンズ・ワート)含有食品	
副作用	重大な副作用 出血、肝機能障害・黄疸 その他 結膜出血、歯肉出血、血腫、鼻出血、貧血、血尿、斑状出血、挫傷など	

(薬品名)	ランマーク皮下注 120mg	劇・生	市販直後調査 平成 24 年 4 月～平成 24 年 10 月
(英名)	RANMARK Subcutaneous Injection		
(規格・含有量)	1 バイアル中有効成分デノスマブ(遺伝子組換え)120mg/1.7mLを含有		
(一般名)	デノスマブ(遺伝子組換え)注		
(メーカー名)	第一三共		
【薬価収載日】	2012 年 4 月		
【薬価】	(45,155.00 円/1 管)		
【薬効コード】	873999		
【薬効分類名】	ヒト型抗 RANKL モノクローナル抗体製剤		
効能・効果	多発性骨髄腫による骨病変及び固形癌骨転移による骨病変		
用法・用量	通常、成人にはデノスマブ(遺伝子組換え)として120mgを4 週間に1 回、皮下投与する。		
禁忌	①本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者 ②妊婦、妊娠している可能性のある婦人又は授乳婦		
相互作用	-		
副作用	重大な副作用 顎骨壊死・顎骨骨髄炎、重篤な皮膚感染症、(類薬)大腿骨転子下及び近位大腿骨骨幹部の非定型骨折		

(薬品名)	ルネスタ錠 1mg	劇	市販直後調査 平成 24 年 4 月～平成 24 年 10 月
(英名)	Lunesta Tablets 1mg		
(規格・含有量)	1mg/1錠 1錠中 エソゾピクロン 1mg を含有。		
(一般名)	エソゾピクロン		
(メーカー名)	エーザイ		
【薬価収載日】	2012 年 4 月		
【薬価】	(1mg 錠:49.60 円)		
【薬効コード】	871129		
【薬効分類名】	不眠症治療薬		
効能・効果	不眠症		
用法・用量	通常、成人にはエソゾピクロンとして1 回2 mgを、高齢者には1 回1 mgを就寝前に経口投与する。 なお、症状により適宜増減するが、成人では1 回3 mg、高齢者では1 回2 mgを超えないこととする。		
警告	本剤の服用後に、もうろう状態、睡眠随伴症状(夢遊症状等)があらわれることがある。また、入眠までの、あるいは中途覚醒時の出来事を記憶していないことがあるので注意すること。		
禁忌	①本剤の成分又はゾピクロンに対し過敏症の既往歴のある患者 ②重症筋無力症の患者 ③急性狭隅角緑内障の患者		
相互作用	本剤作用増強 CYP3A4阻害作用を有する薬剤(イトラコナゾール 等) 本剤・他剤作用増強 ①筋弛緩薬(スキサメトニウム塩化物水和物、ツボクラリン塩化物塩酸塩水和物、パンクロニウム臭化物、中枢神経抑制剤(フェノチアジン誘導体、バルビツール酸誘導体等) ②アルコール(飲酒) 本剤副作用増強 麻酔時チアミールナトリウム、チオペンタールナトリウム等 本剤作用減弱 CYP3A4誘導作用を有する薬剤(リファンピシン等)		
副作用	重大な副作用 ショック、アナフィラキシー様症状、依存性、呼吸抑制、肝機能障害、精神症状、意識障害、一過性前向性健忘、もうろう状態 その他 傾眠、味覚異常、頭痛、浮動性めまい、口渇など		

(薬品名)	ムコスタ点眼液 UD 2%	市販直後調査 平成 24 年1月～平成 24 年 7 月
(英名)	Mucosta ophthalmic suspension UD2%	
(規格・含有量)	1mL 中レバミピド 20mg 含有	
(一般名)	レバミピド	
(メーカー名)	大塚製薬株式会社	
【薬価収載日】	2011 年 11 月	
【薬価】	(26.3 円/1 本)	
【薬効コード】	871319	
【薬効分類名】	ドライアイ治療剤	
効能・効果	ドライアイ	
用法・用量	通常、1 回 1 滴、1 日 4 回点眼する。	
禁忌	本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者	
相互作用	—	
副作用	その他 苦味(5%以上)など	

(薬品名)	オンブレス吸入用カプセル 150μ g	市販直後調査 平成 22 年 1 月～平成 22 年 7 月
(英名)	Onbrez inhalation capsules 150 μ g	
(規格・含有量)	1 カプセル中、インダカテロールマレイン酸塩194 μ g(インダカテロールとして150 μ g)を含有	
(一般名)	インダカテロールマレイン酸塩	
(メーカー名)	ノバルティス ファーマ	
【薬価収載日】	2011 年 9 月	
【薬価】	(139.60 円/1カプセル)	
【薬効コード】	872259	
【薬効分類名】	長時間作用性吸入気管支拡張剤	
効能・効果	慢性閉塞性肺疾患(慢性気管支炎、肺気腫)の気道閉塞性障害に基づく諸症状の緩解	
用法・用量	通常、成人には1 回1 カプセル(インダカテロールとして150 μ g)を1 日1 回本剤専用の吸入用器具を用いて吸入する。	
禁忌	本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者	
相互作用	本剤作用増強 ①CYP3A4を阻害する薬剤(エリスロマイシン等) ②P糖蛋白を阻害する薬剤(ベラパミル等) ③交感神経刺激剤 他剤作用増強 カテコールアミン(アドレナリン、イソプレナリン等) 他剤副作用増強 ①キサンチン誘導体 ②ステロイド剤 ③利尿剤(サイアザイド系)、類似利尿剤(ループ利尿剤) ④QT間隔延長を起こすことが知られている薬剤(MAO阻害剤、三環系抗うつ剤等) 本剤作用減弱 β 遮断剤(点眼剤を含む)	
副作用	重大な副作用 重篤な血清カリウム値の低下 その他 咳嗽等	

削除医薬品通知

●6月1日より

バイミガード錠 5mg	削除
アレベール吸入用溶解液 0.125%	削除
ジプロフィリン注 300mg	削除
ミケラン点眼液 2% 5mL	削除
ぜスタッククリーム 50g	削除